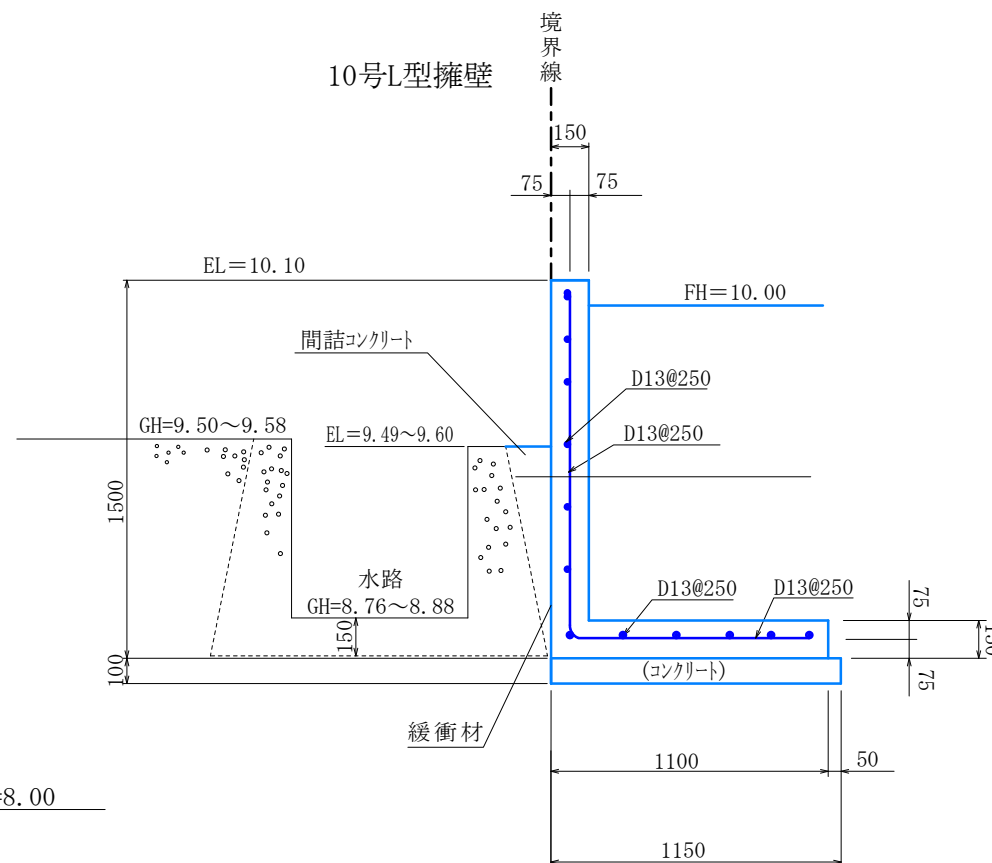
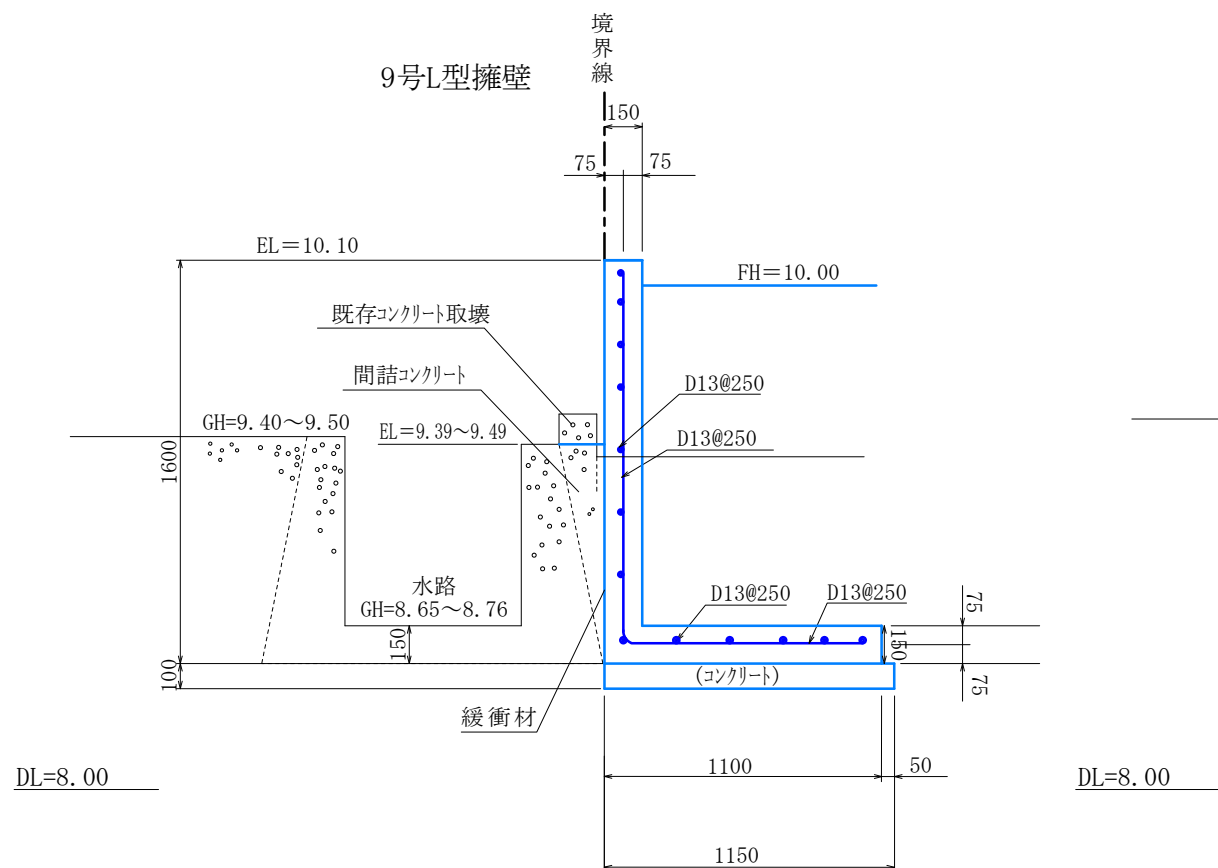
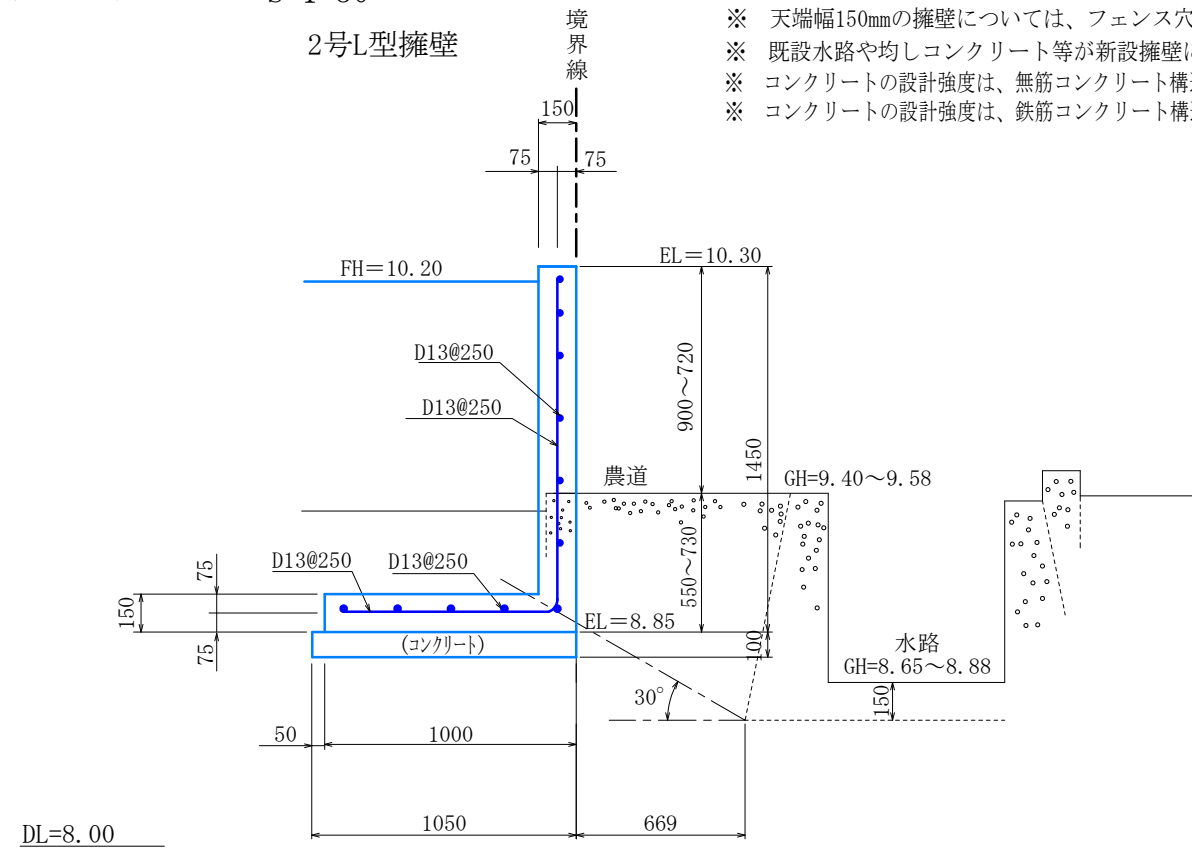
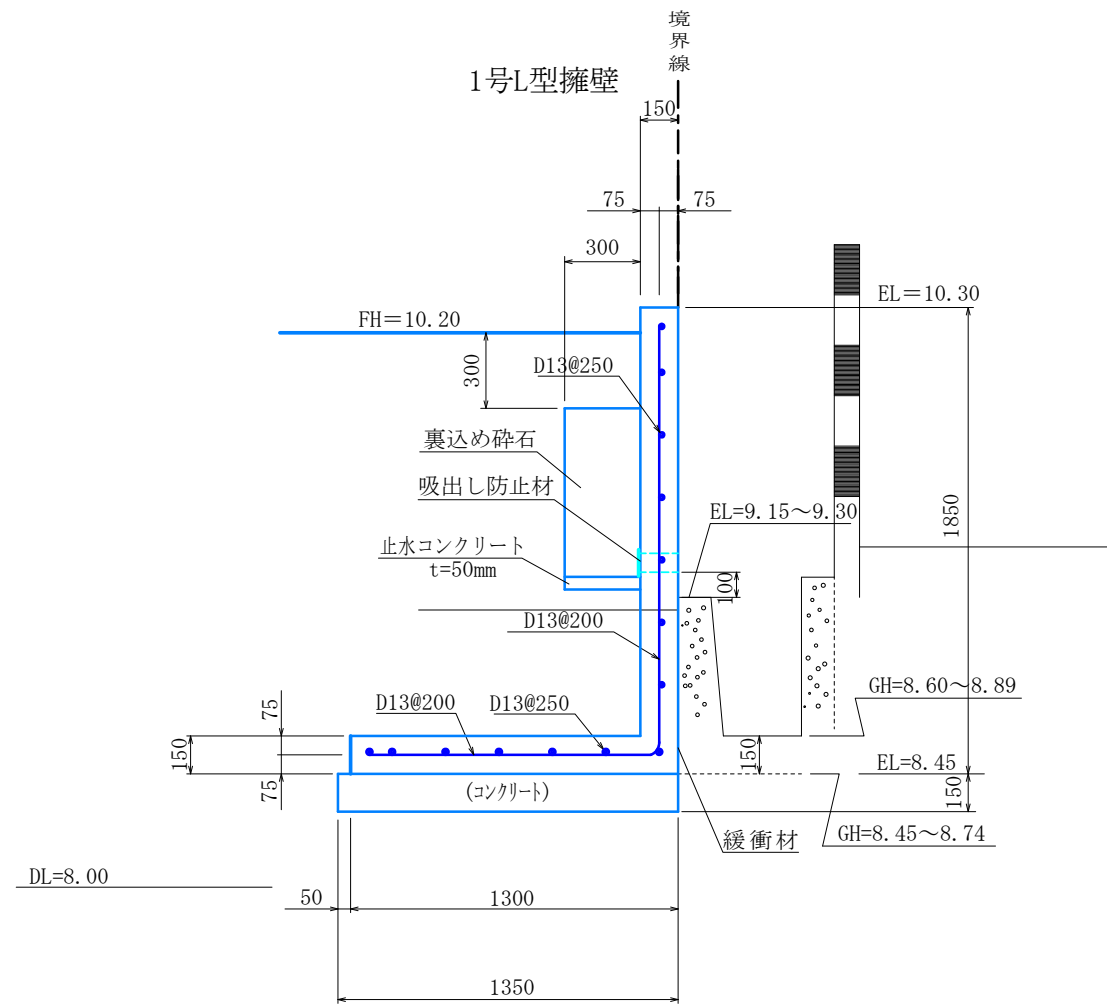


# 構造図-1 S=1:30

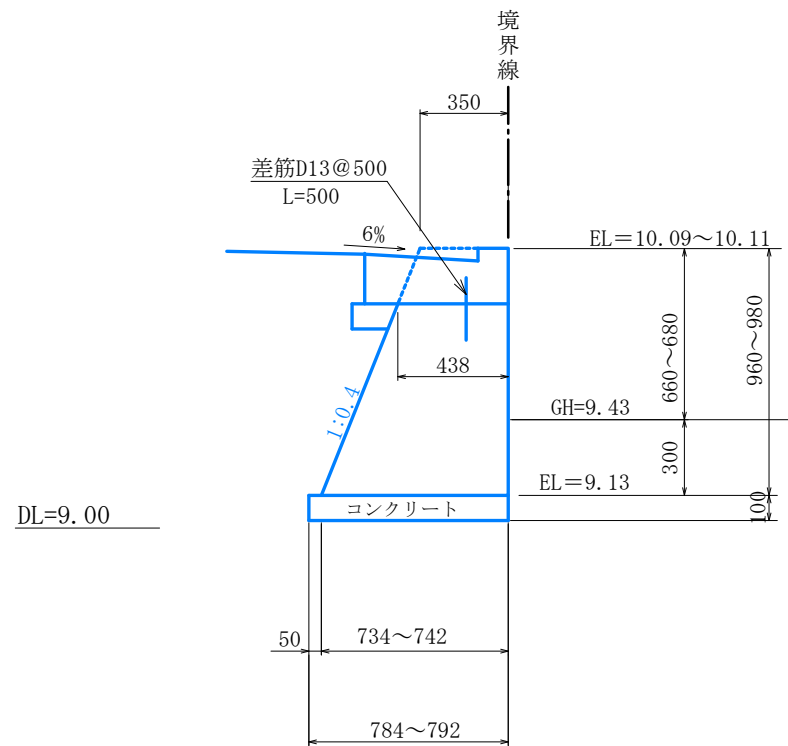
- ※ 鉄筋はSD345とし定着長は35Dとする
- ※ 止水板(CF-150)と伸縮目地の厚み(10mm)及び施工区間(10m)とする
- ※ 地盤反力が100kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認すること
- ※ 天端幅150mmの擁壁については、フェンス穴を設置しないこと
- ※ 既設水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること
- ※ コンクリートの設計強度は、無筋コンクリート構造物( $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ )とする
- ※ コンクリートの設計強度は、鉄筋コンクリート構造物( $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ )とする



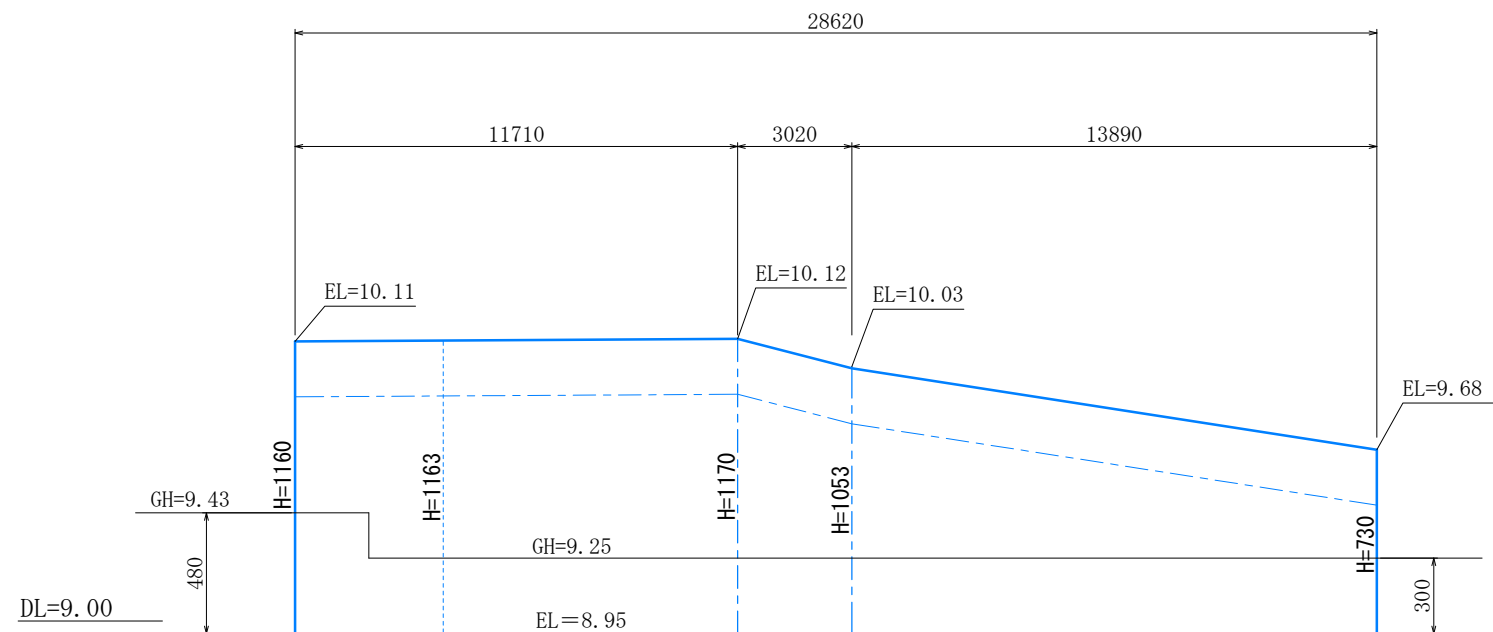
所在	高松市円座町字上円座
図面名称	構造図-1 縮尺 1:30
作成年月日	令和6年5月20日
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広

# 構造図-2 S=1:500

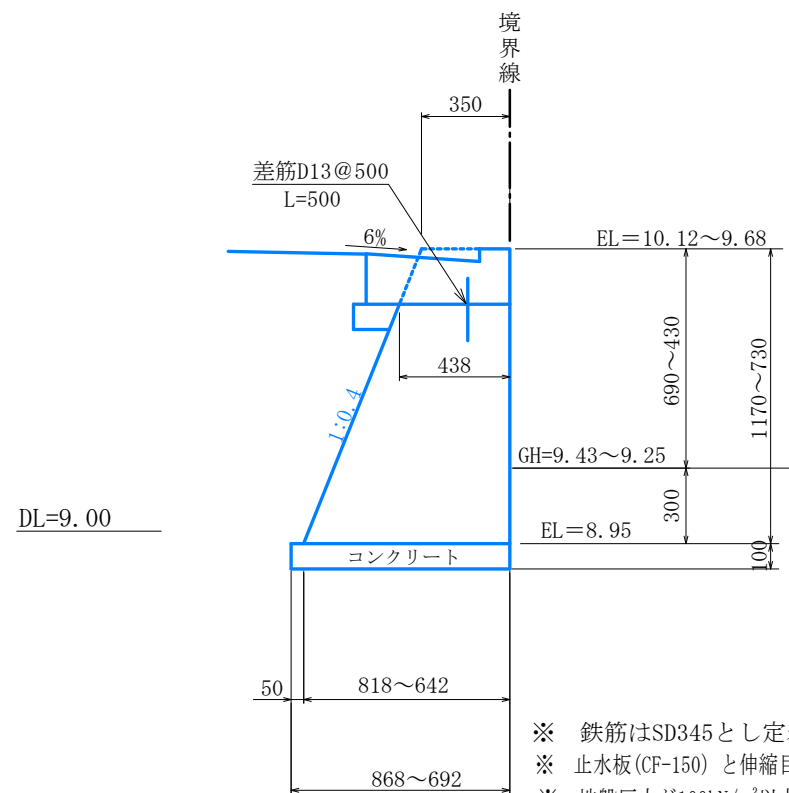
## 1号重力式擁壁



## 2号重力式擁壁 (展開図) 縦=1:30 横=1:200



## 2号重力式擁壁



- ※ 鉄筋はSD345とし定着長は35Dとする
- ※ 止水板(CF-150)と伸縮目地の厚み(10mm)及び施工区間(10m)とする
- ※ 地盤反力が100kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認すること

- ※ 天端幅150mmの擁壁については、フェンス穴を設置しないこと
- ※ 既設水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること
- ※ コンクリートの設計強度は、無筋コンクリート構造物(σ<sub>ck</sub>=18N/mm<sup>2</sup>)とする
- ※ コンクリートの設計強度は、鉄筋コンクリート構造物(σ<sub>ck</sub>=24N/mm<sup>2</sup>)とする

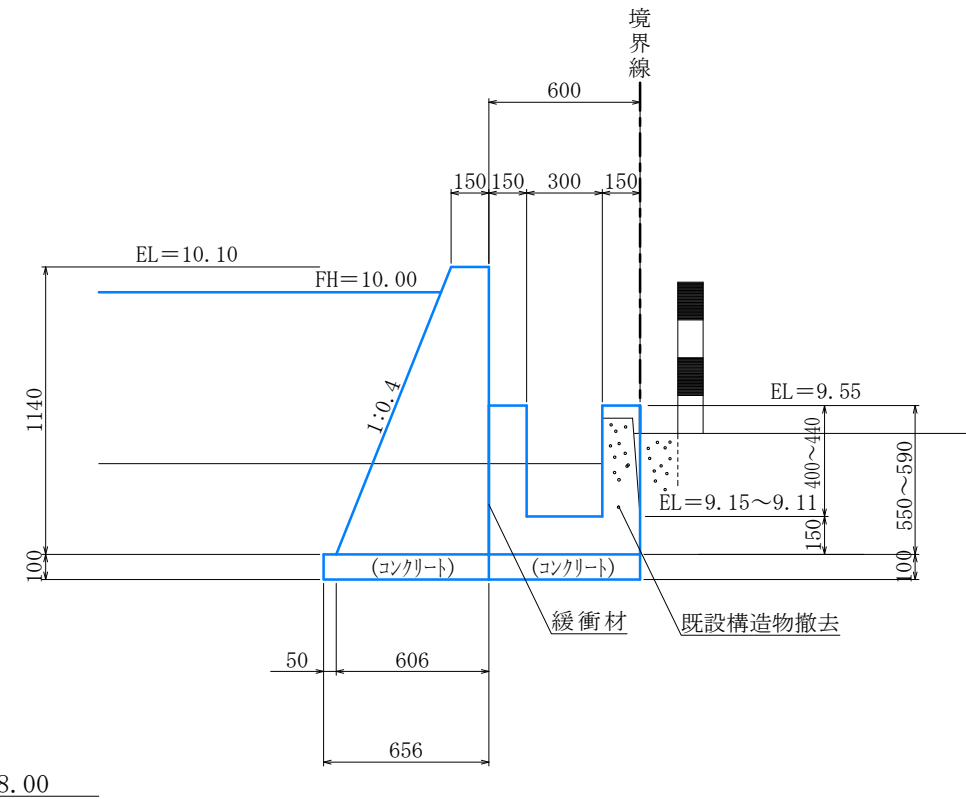
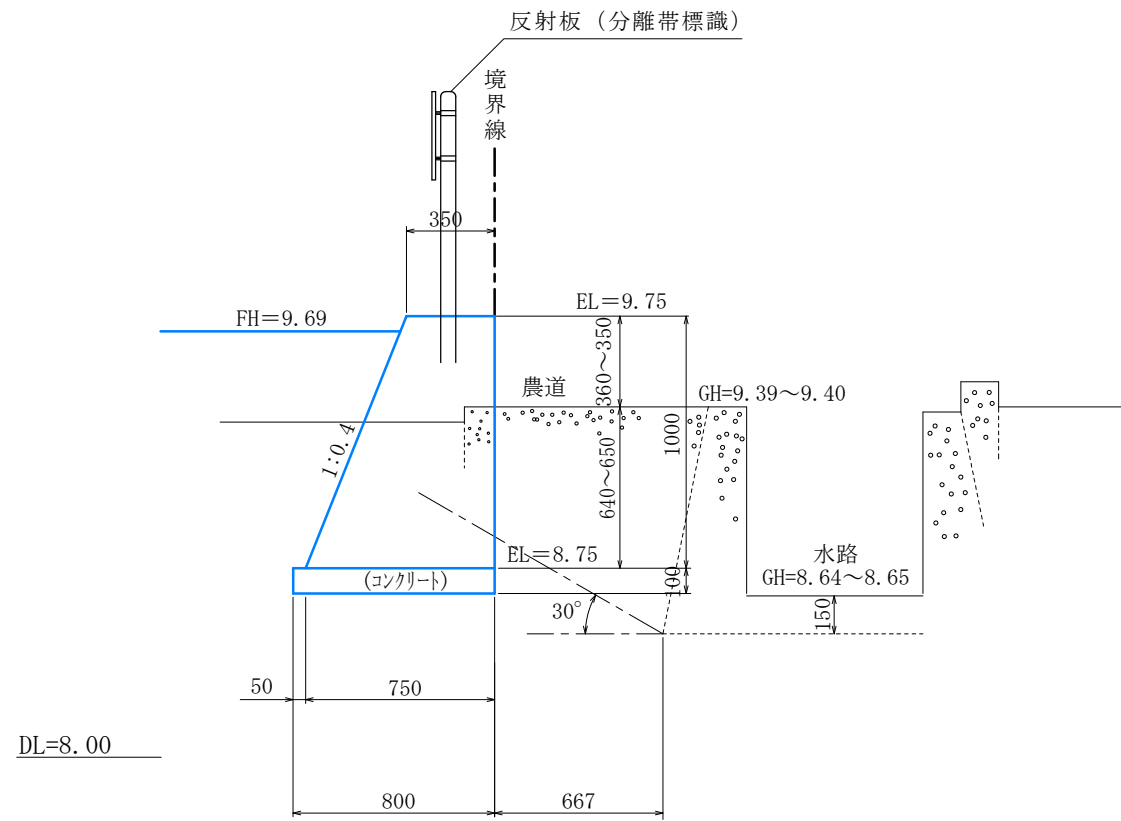
所在	高松市円座町字上円座		
図面名称	構造図-2	縮尺	1:30
作成年月日	令和6年5月20日		
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広		

# 構造図-3

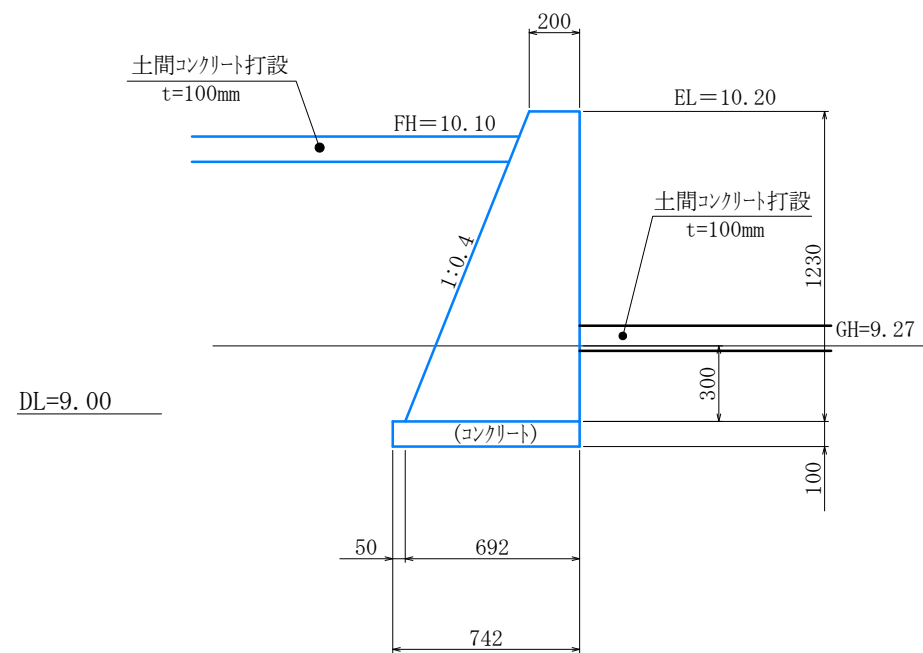
S=1:30

7号重力式擁壁・1号水路

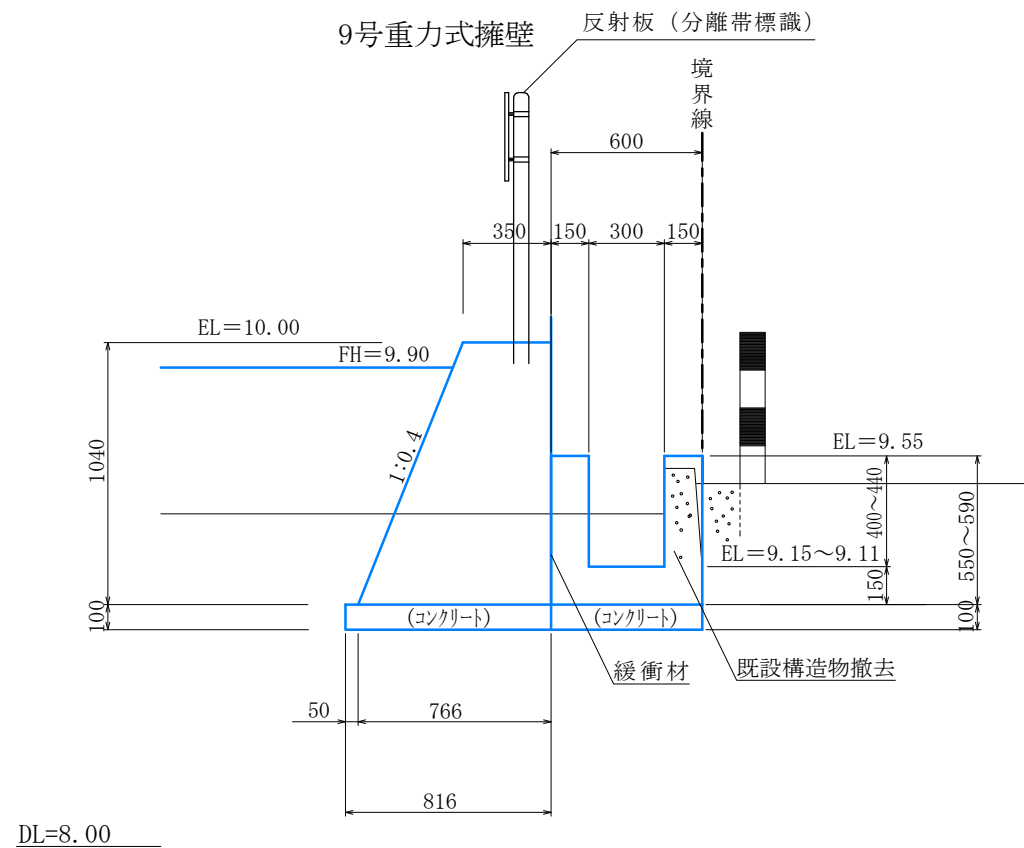
3号重力式擁壁



8号重力式擁壁



9号重力式擁壁

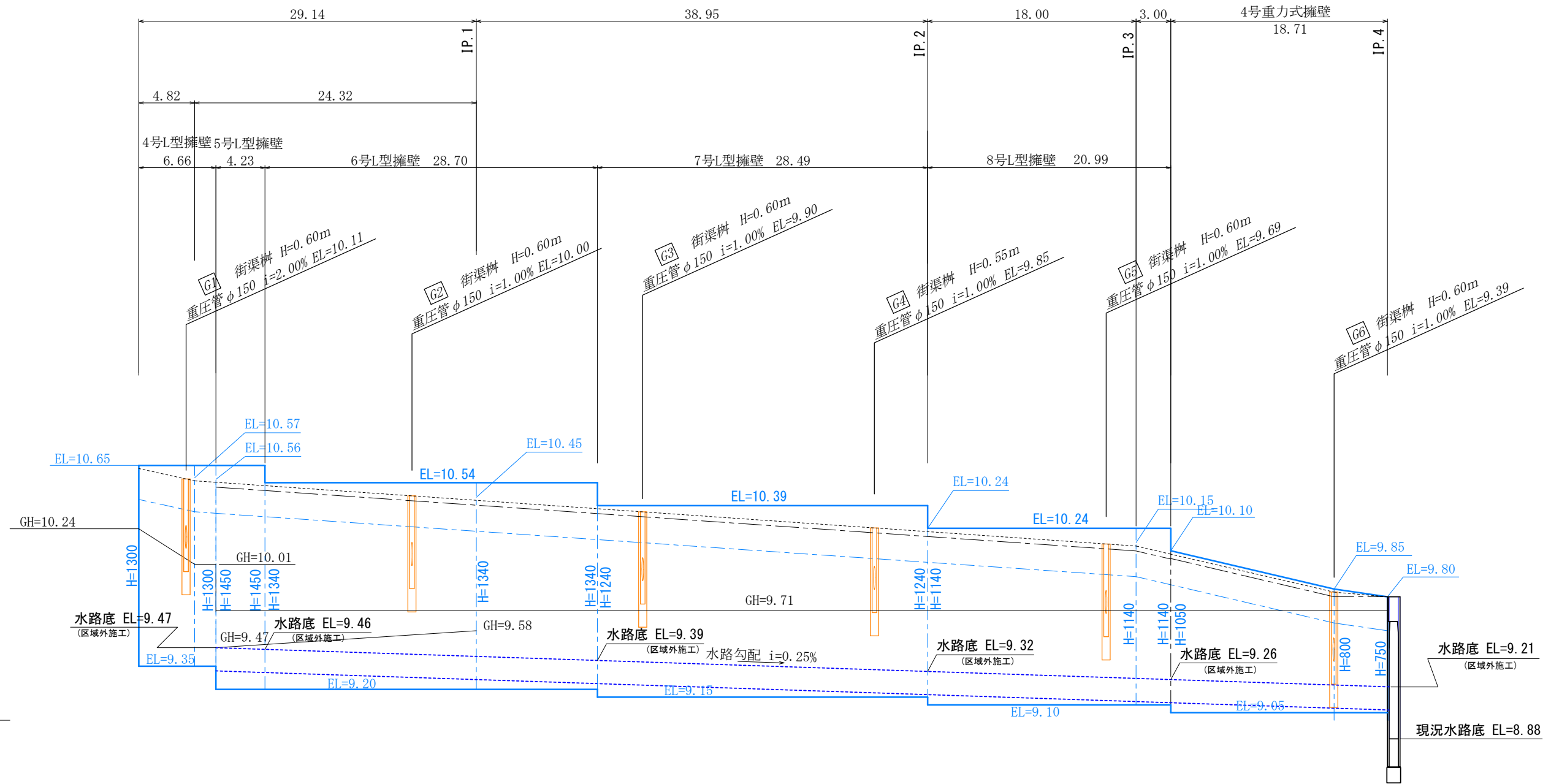


- ※ 鉄筋はSD345とし定着長は35Dとする
- ※ 止水板(CF-150)と伸縮目地の厚み(10mm)及び施工区間(10m)とする
- ※ 地盤反力が100kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認すること

- ※ 天端幅150mmの擁壁については、フェンス穴を設置しないこと
- ※ 既設水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること
- ※ コンクリートの設計強度は、無筋コンクリート構造物( $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ )とする
- ※ コンクリートの設計強度は、鉄筋コンクリート構造物( $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ )とする

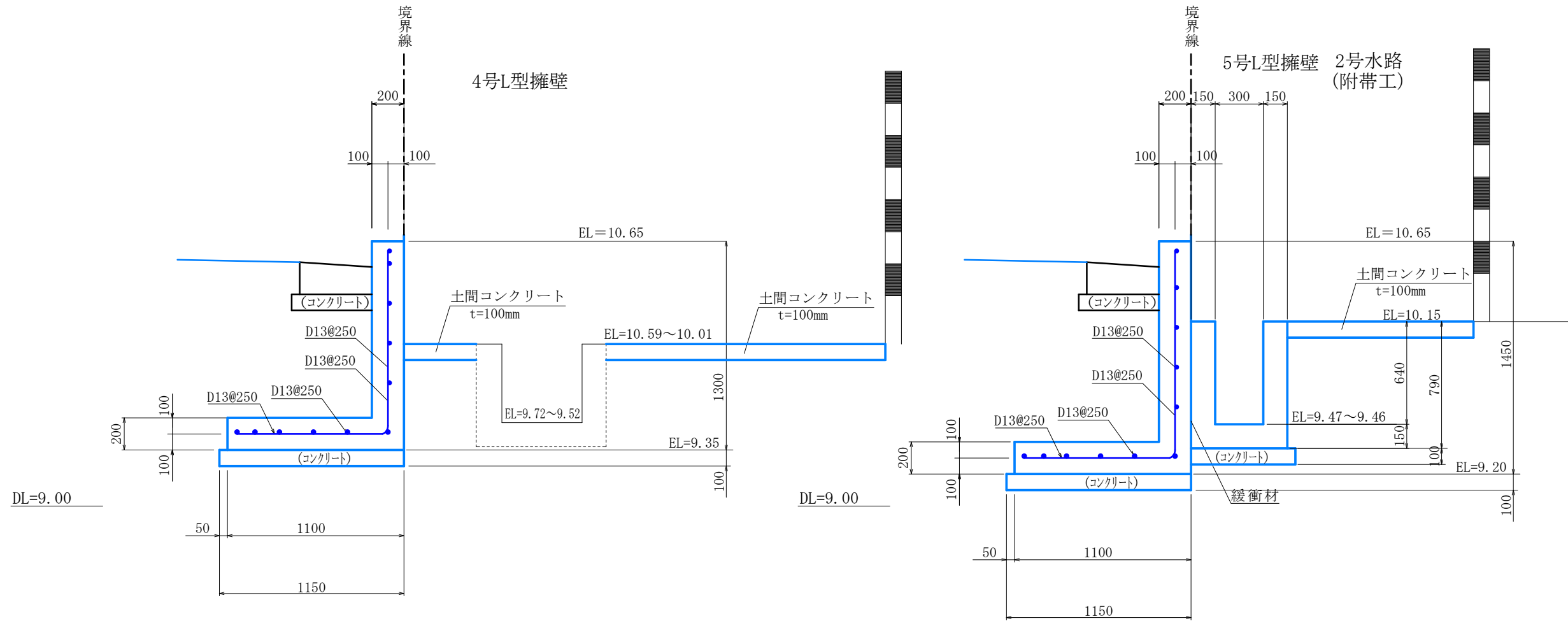
所在	高松市円座町字上円座		
図面名称	構造図-3	縮尺	1:30
作成年月日	令和6年6月6日		
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広		

# 構造図 - 4



所在	高松市円座町字上円座	
図面名称	構造図 - 4	縮尺 図中記載
作成年月日	令和 6 年 6 月 6 日	
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広	

# 構造図 - 5 S=1:30



- ※ 鉄筋はSD345とし定着長は35Dとする
- ※ 止水板(CF-150)と伸縮目地の厚み(10mm)及び施工区間(10m)とする
- ※ 地盤反力が100kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認すること

- ※ 天端幅150mmの擁壁については、フェンス穴を設置しないこと
- ※ 既設水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること
- ※ コンクリートの設計強度は、無筋コンクリート構造物 ( $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ ) とする
- ※ コンクリートの設計強度は、鉄筋コンクリート構造物 ( $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ ) とする

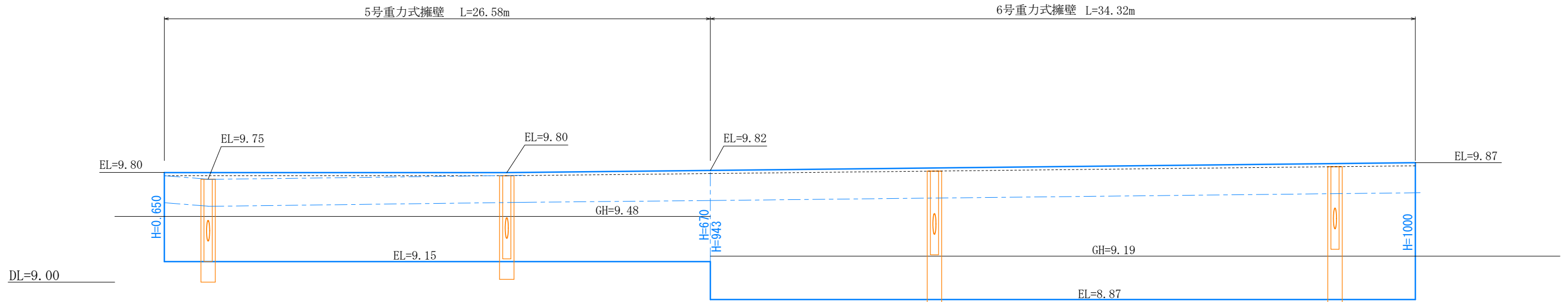
所在	高松市円座町字上円座		
図面名称	構造図-3	縮尺	1:30
作成年月日	令和6年5月20日		
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広		



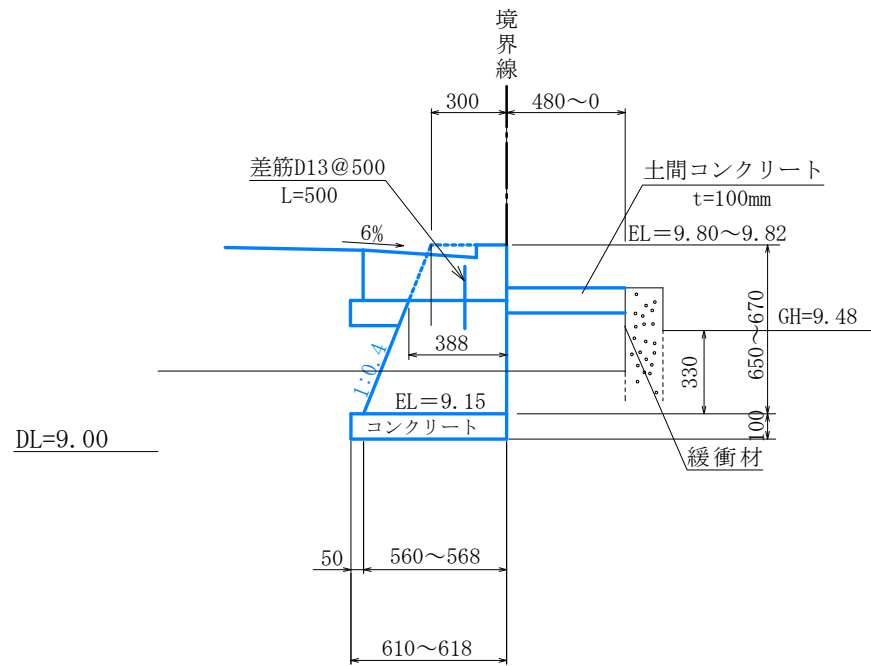


# 構造図-8 S=1:30

展開図  
縦=1:30  
横=1:30

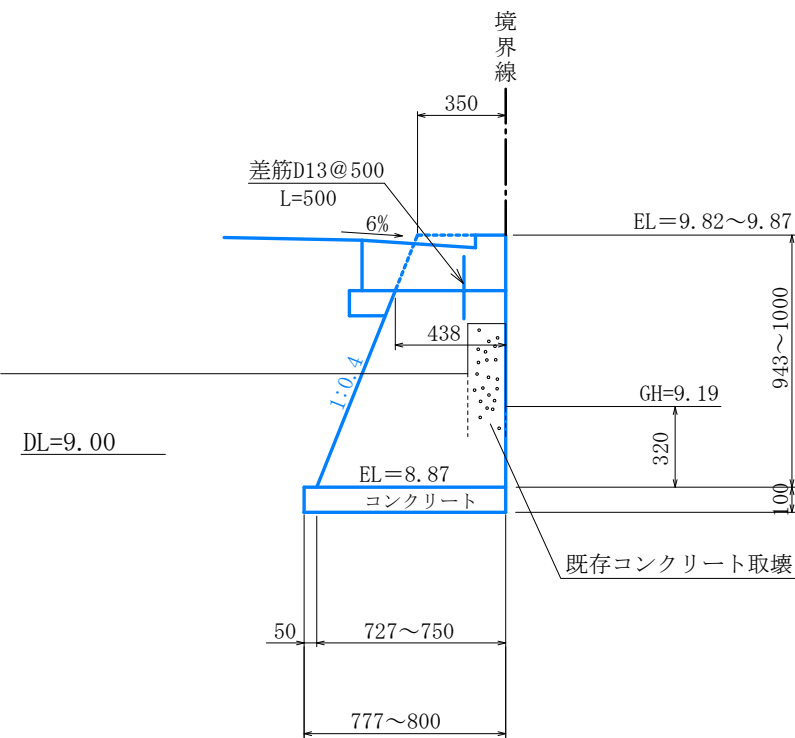


5号重力式擁壁 S=1:30



- ※ 鉄筋はSD345とし定着長は35Dとする
- ※ 止水板(CF-150)と伸縮目地の厚み(10mm)及び施工区間(10m)とする
- ※ 地盤反力が100kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認すること

6号重力式擁壁 S=1:30

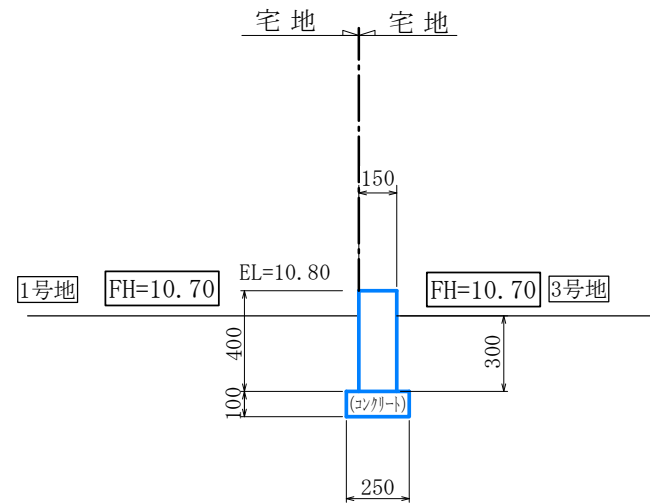


- ※ 天端幅150mmの擁壁については、フェンス穴を設置しないこと
- ※ 既設水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること
- ※ コンクリートの設計強度は、無筋コンクリート構造物( $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ )とする
- ※ コンクリートの設計強度は、鉄筋コンクリート構造物( $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ )とする

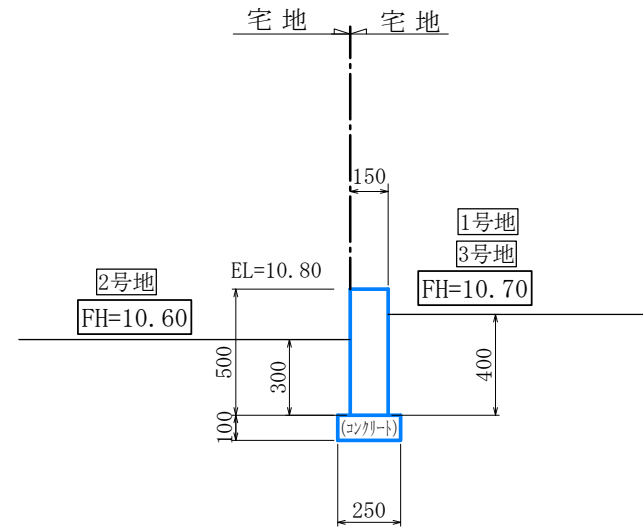
所在	高松市円座町字上円座	
図面名称	構造図-8	縮尺 図中記載
作成年月日	令和6年6月6日	
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広	

# 構造図-9 S=1:30

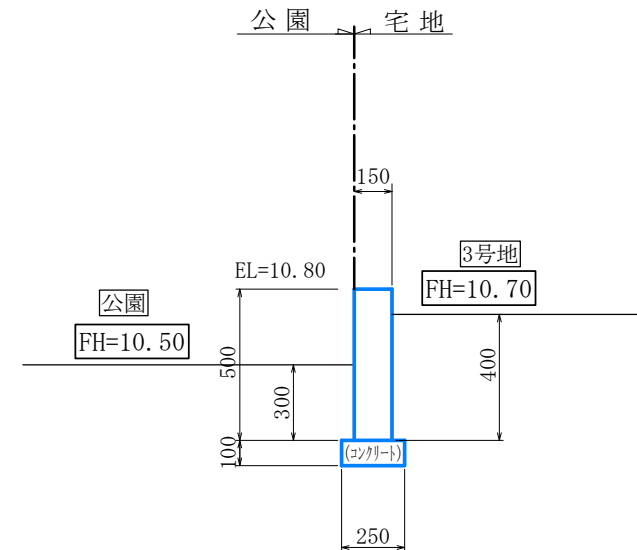
1号境界工



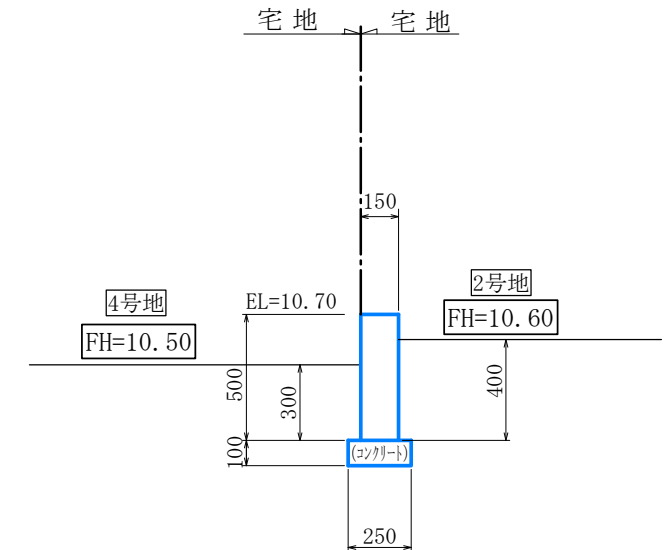
2号境界工



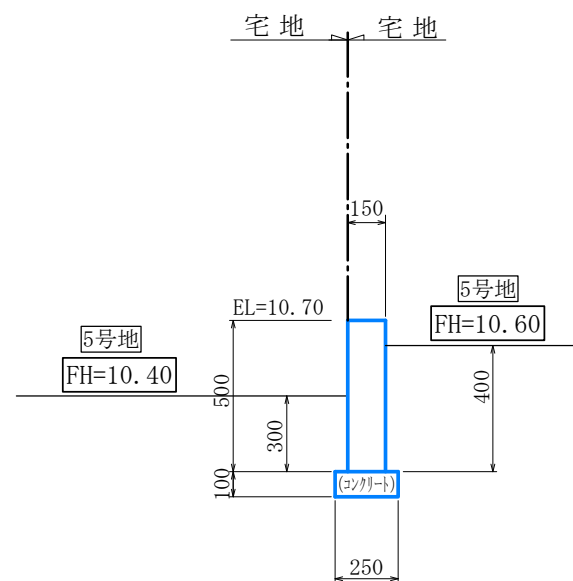
3号境界工



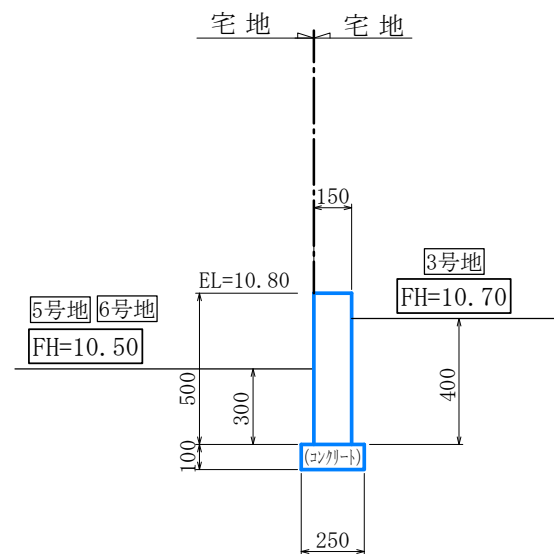
4号境界工



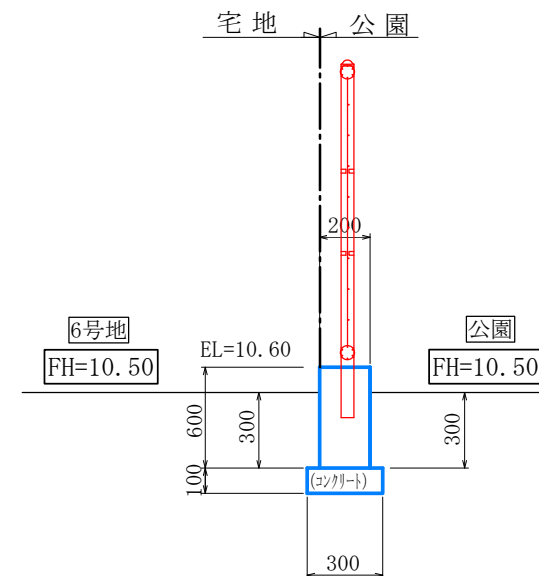
5号境界工



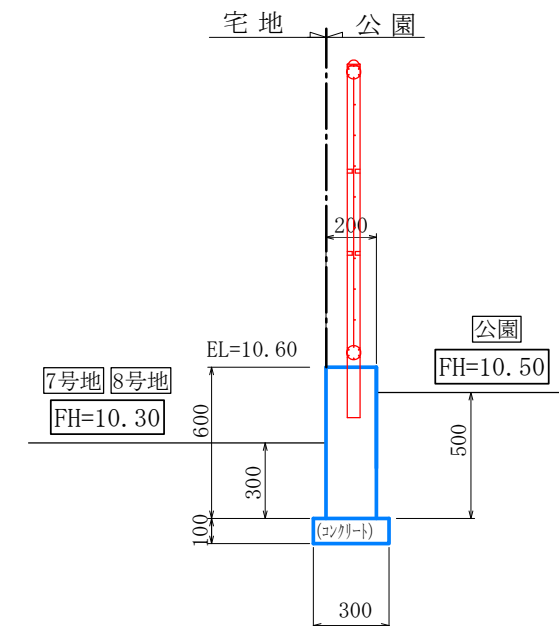
6号境界工



7号境界工



8号境界工



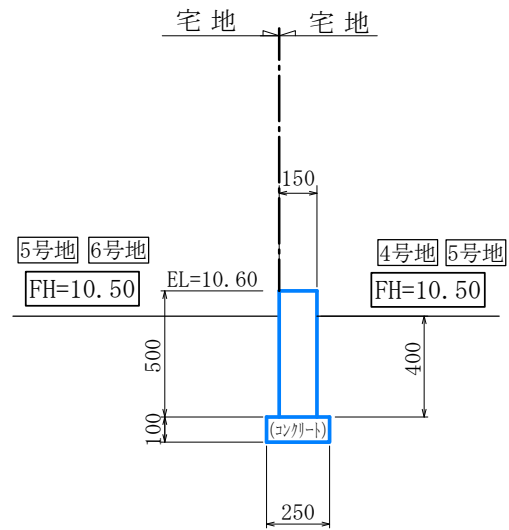
- ※ 鉄筋はSD345とし定着長は35Dとする
- ※ 止水板(CF-150)と伸縮目地の厚み(10mm)及び施工区間(10m)とする
- ※ 地盤反力が100kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認すること

- ※ 天端幅150mmの擁壁については、フェンス穴を設置しないこと
- ※ 既設水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること
- ※ コンクリートの設計強度は、無筋コンクリート構造物( $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ )とする
- ※ コンクリートの設計強度は、鉄筋コンクリート構造物( $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ )とする

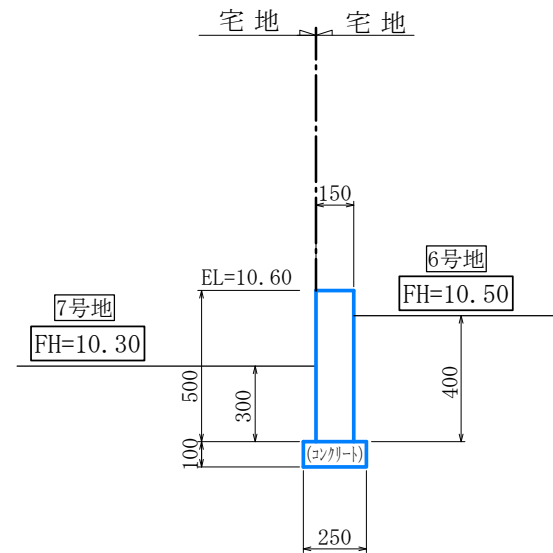
所在	高松市円座町字上円座		
図面名称	構造図-9	縮尺	1:30
作成年月日	令和6年5月20日		
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広		

# 構造図 - 10 S=1:30

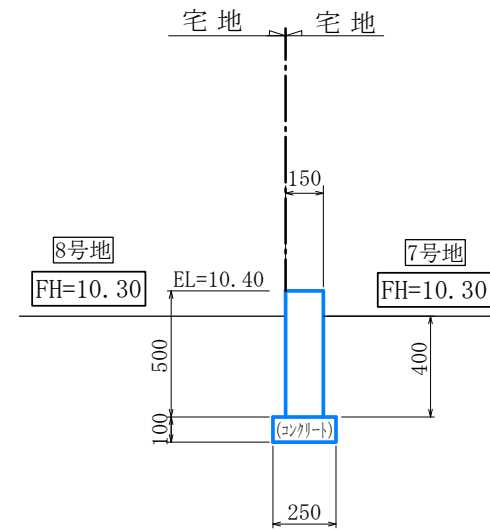
9号境界工



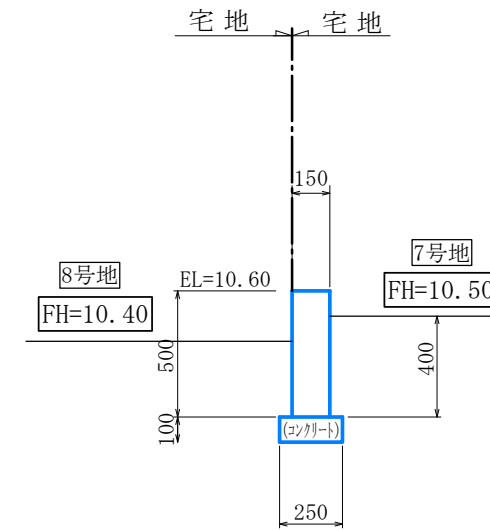
10号境界工



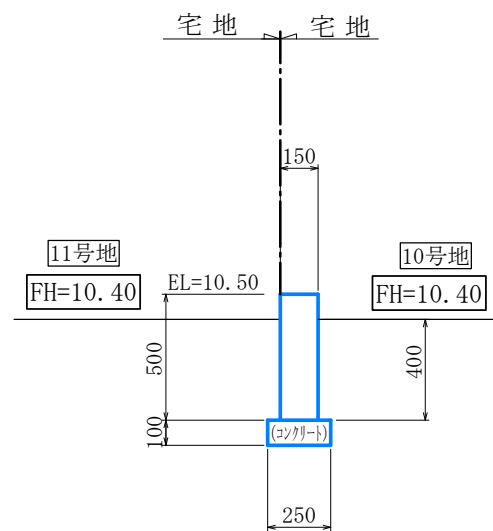
11号境界工



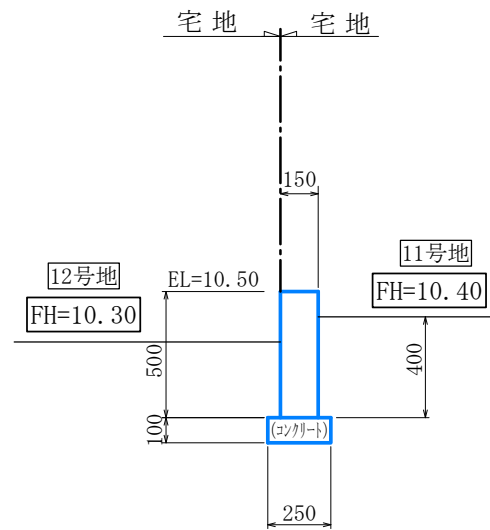
12号境界工



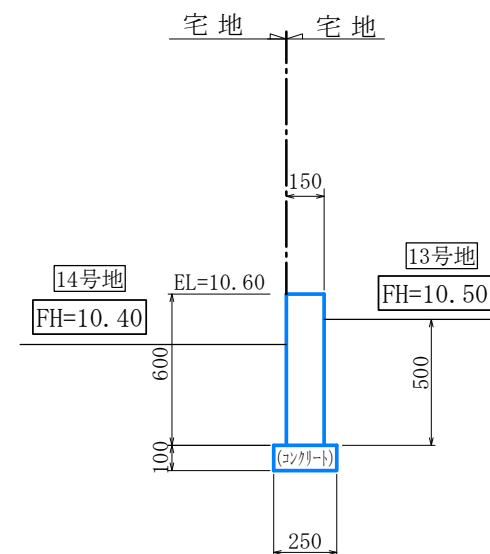
13号境界工



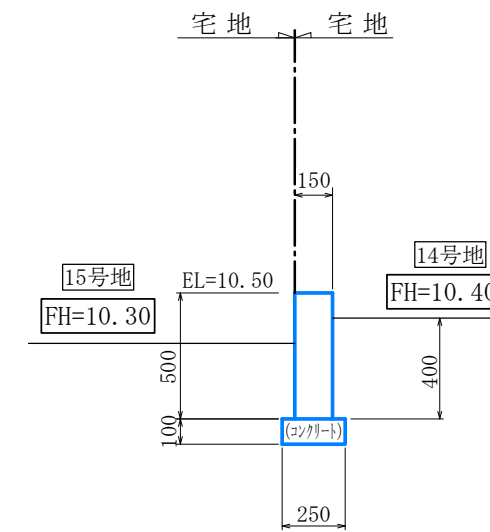
14号境界工



15号境界工



16号境界工



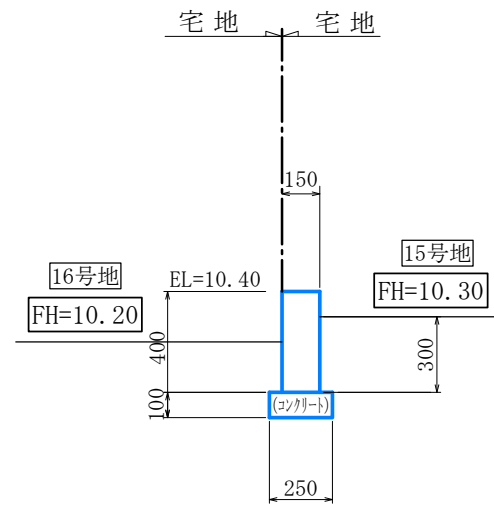
- ※ 鉄筋はSD345とし定着長は35Dとする
- ※ 止水板(CF-150)と伸縮目地の厚み(10mm)及び施工区間(10m)とする
- ※ 地盤反力が100kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認すること

- ※ 天端幅150mmの擁壁については、フェンス穴を設置しないこと
- ※ 既設水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること
- ※ コンクリートの設計強度は、無筋コンクリート構造物( $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ )とする
- ※ コンクリートの設計強度は、鉄筋コンクリート構造物( $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ )とする

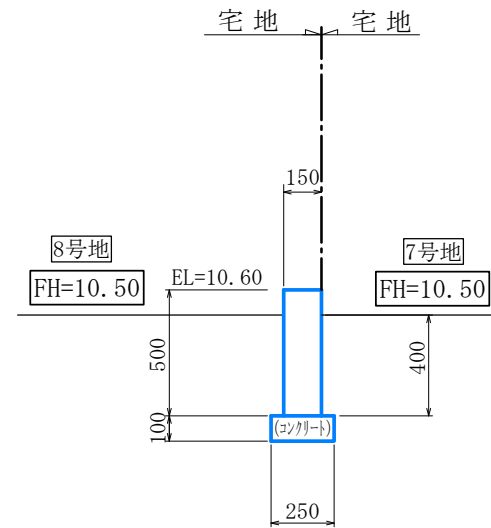
所在	高松市円座町字上円座
図面名称	構造図-10 縮尺 1:30
作成年月日	令和6年5月20日
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広

# 構造図-11 S=1:30

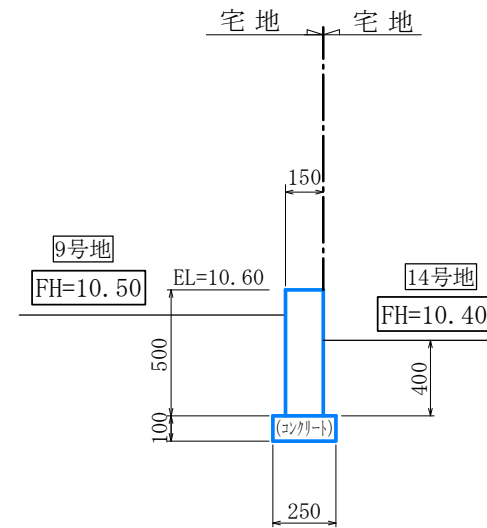
17号境界工



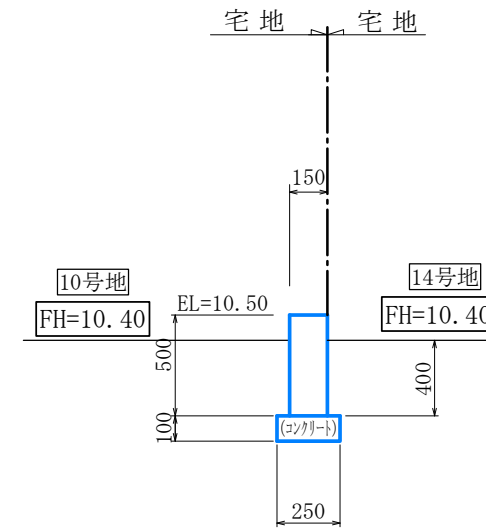
18号境界工



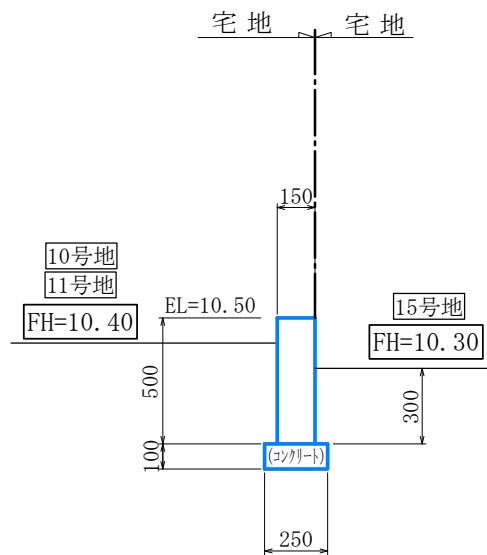
19号境界工



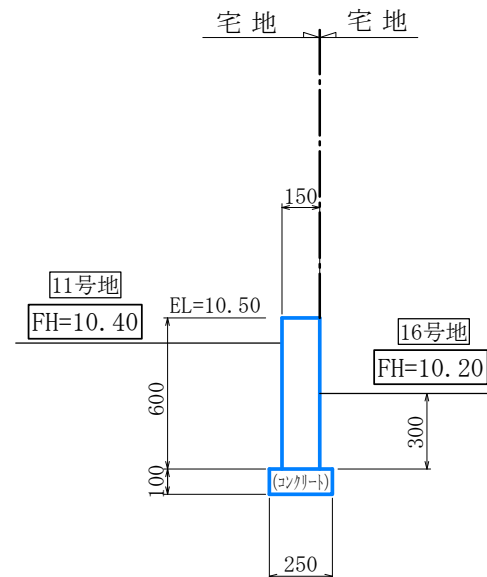
20号境界工



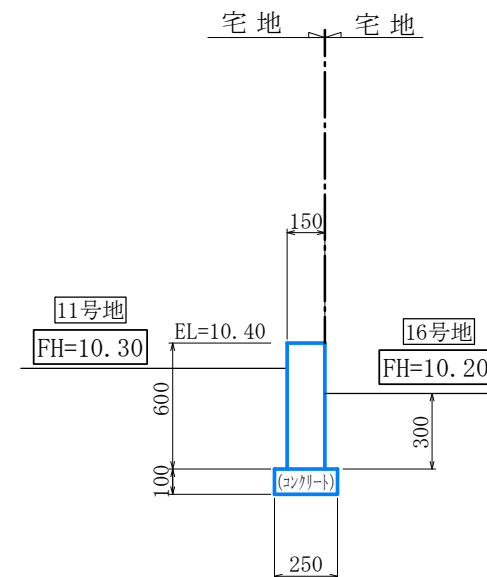
21号境界工



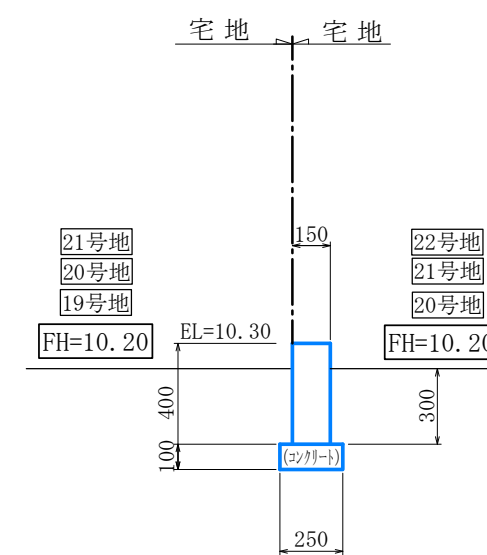
22号境界工



23号境界工



24号境界工



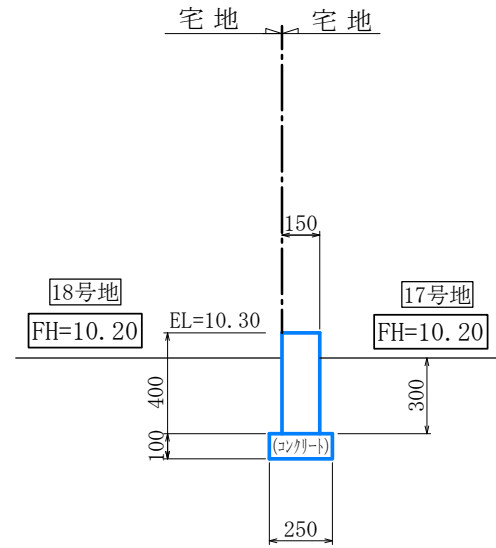
- ※ 鉄筋はSD345とし定着長は35Dとする
- ※ 止水板(CF-150)と伸縮目地の厚み(10mm)及び施工区間(1.0m)とする
- ※ 地盤反力が100kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認すること

- ※ 天端幅150mmの擁壁については、フェンス穴を設置しないこと
- ※ 既設水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること
- ※ コンクリートの設計強度は、無筋コンクリート構造物 ( $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ ) とする
- ※ コンクリートの設計強度は、鉄筋コンクリート構造物 ( $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ ) とする

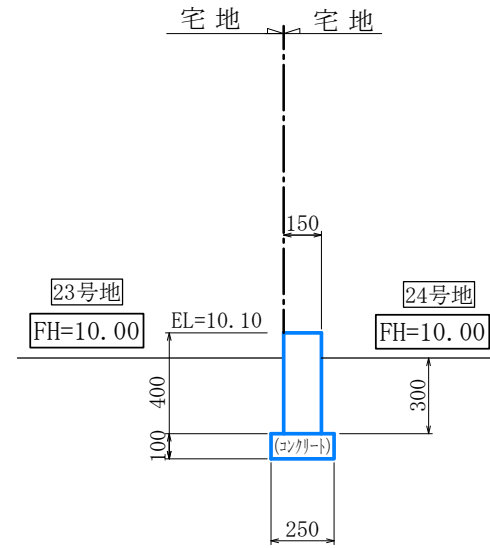
所在	高松市円座町字上円座
図面名称	構造図-11 縮尺 1:30
作成年月日	令和6年5月20日
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広

# 構造図 - 12 S=1:30

25号境界工



26号境界工

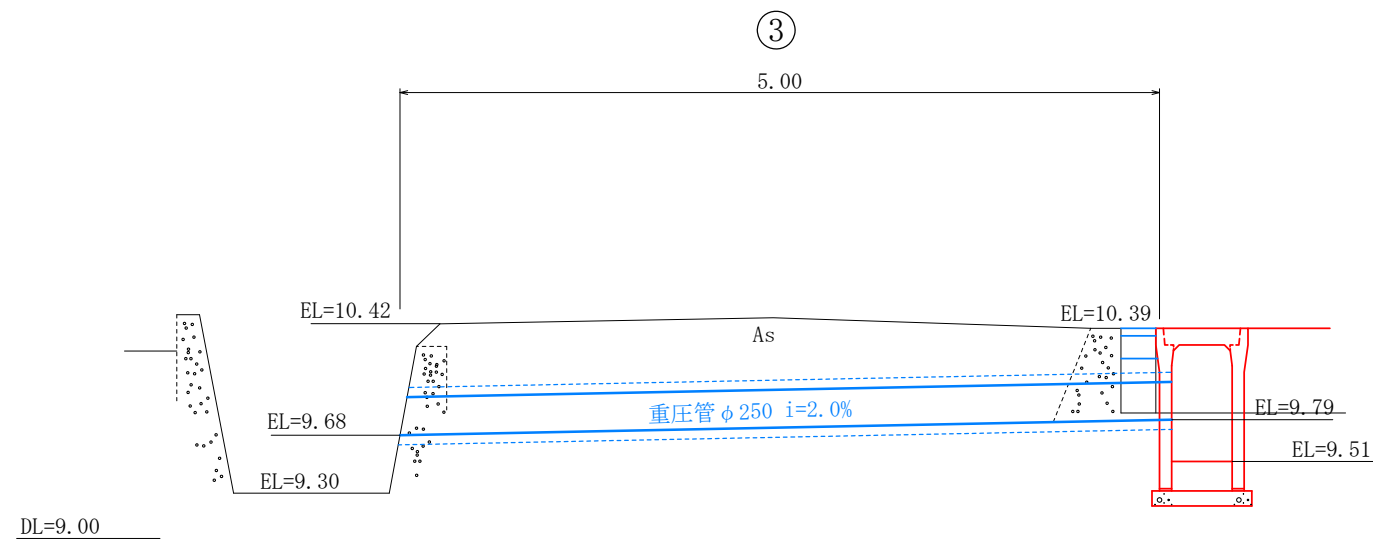
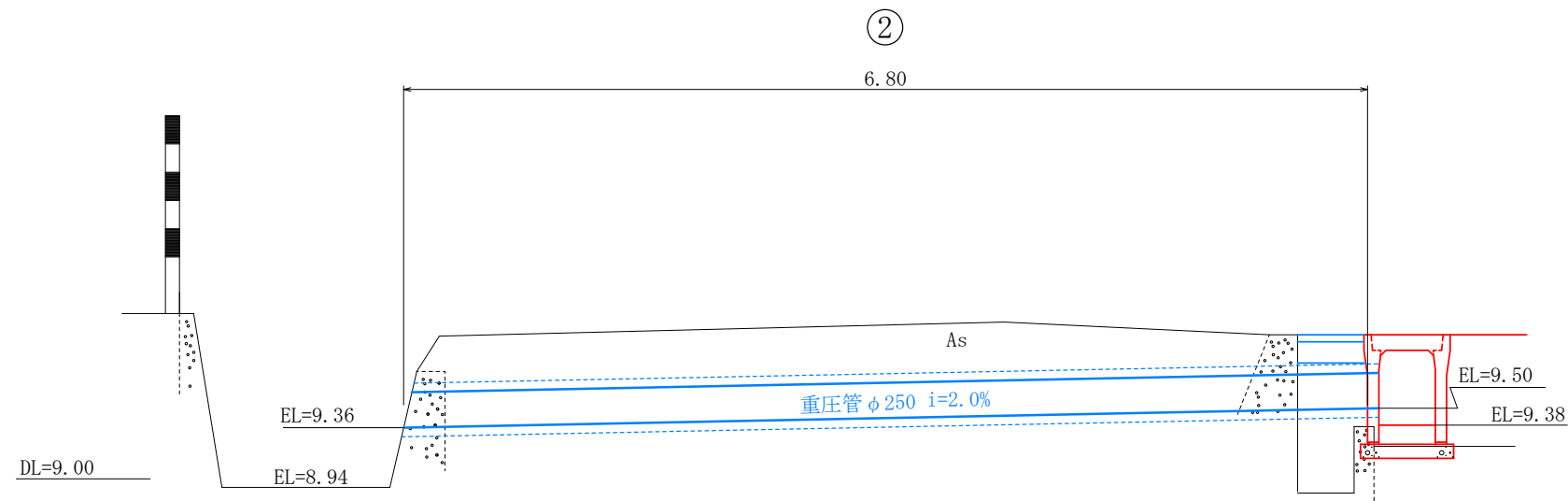
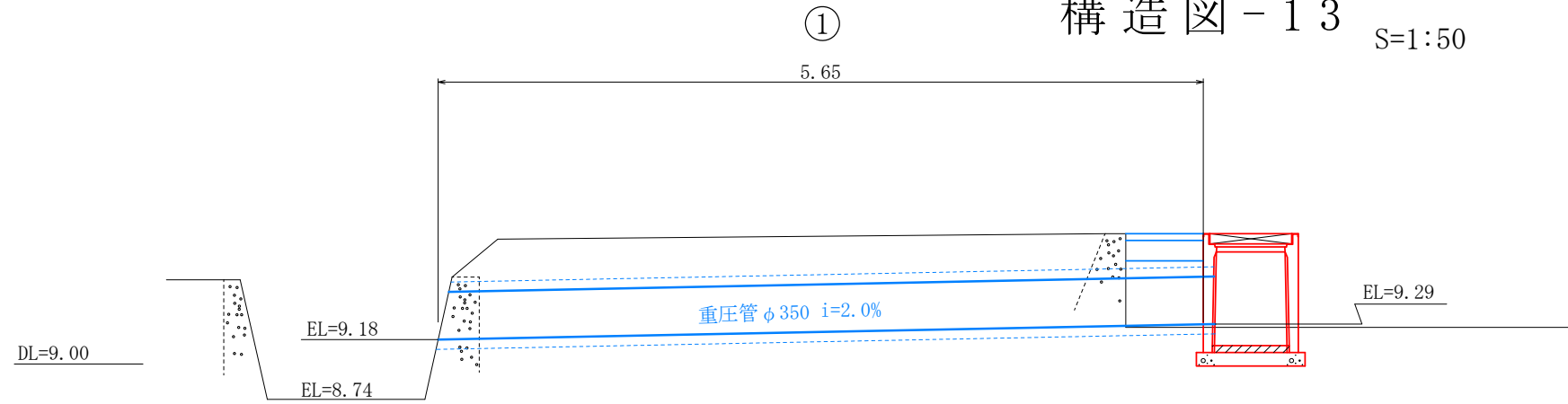


- ※ 鉄筋はSD345とし定着長は35Dとする
- ※ 止水板(CF-150)と伸縮目地の厚み(10mm)及び施工区間(10m)とする
- ※ 地盤反力が100kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認すること

- ※ 天端幅150mmの擁壁については、フェンス穴を設置しないこと
- ※ 既設水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること
- ※ コンクリートの設計強度は、無筋コンクリート構造物( $\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$ )とする
- ※ コンクリートの設計強度は、鉄筋コンクリート構造物( $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ )とする

所在	高松市円座町字上円座		
図面名称	構造図-12	縮尺	1:30
作成年月日	令和6年5月20日		
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広		

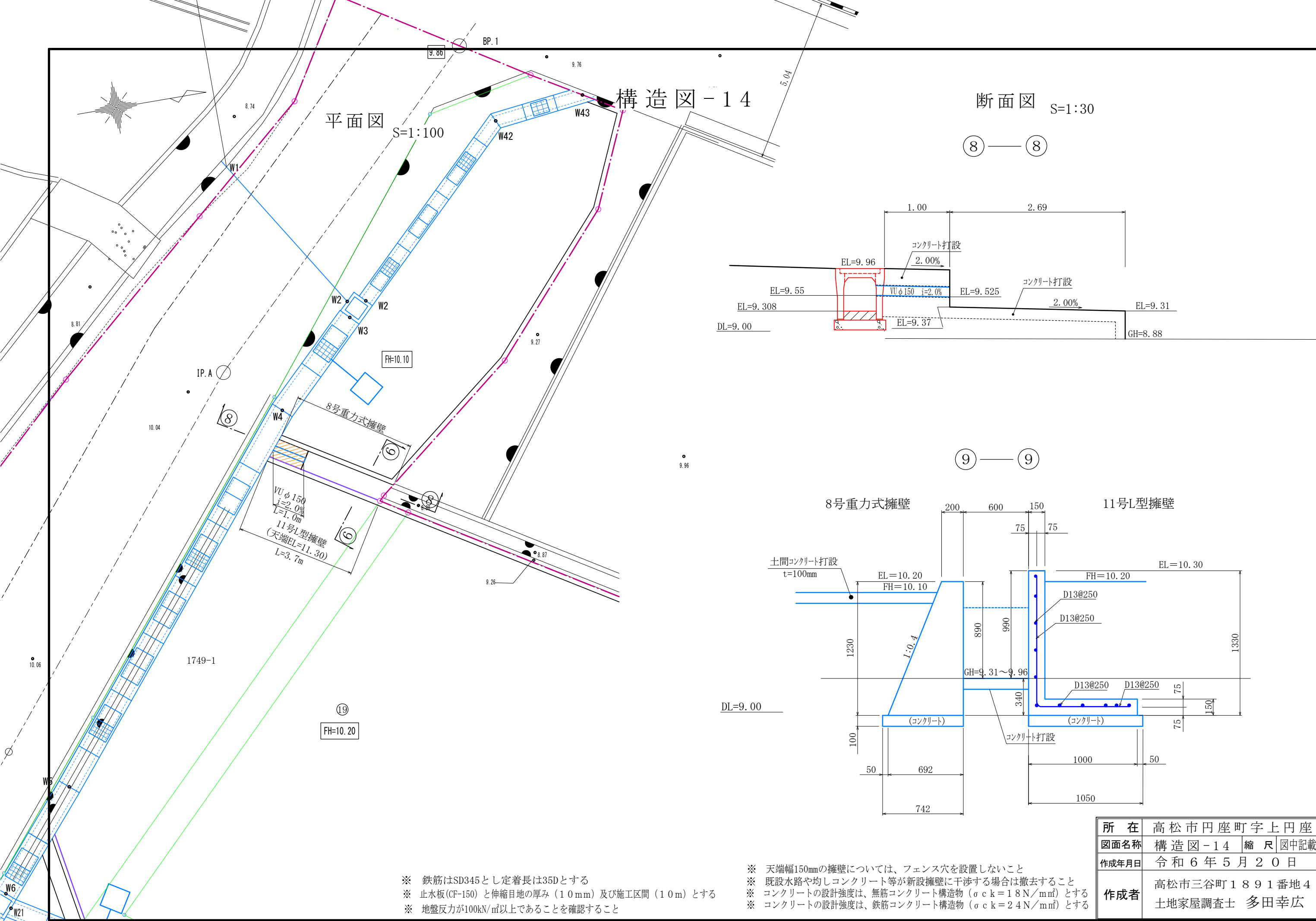
# 構造図-13 S=1:50



- ※ 鉄筋はSD345とし定着長は35Dとする
- ※ 止水板(CF-150)と伸縮目地の厚み(10mm)及び施工区間(10m)とする
- ※ 地盤反力が100kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認すること

- ※ 天端幅150mmの擁壁については、フェンス穴を設置しないこと
- ※ 既設水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること
- ※ コンクリートの設計強度は、無筋コンクリート構造物( $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ )とする
- ※ コンクリートの設計強度は、鉄筋コンクリート構造物( $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ )とする

所在	高松市円座町字上円座		
図面名称	構造図-13	縮尺	1:30
作成年月日	令和6年5月20日		
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広		



構造図-14

断面図 S=1:30

平面図 S=1:100

⑧ — ⑧

⑨ — ⑨

8号重力式擁壁

11号L型擁壁

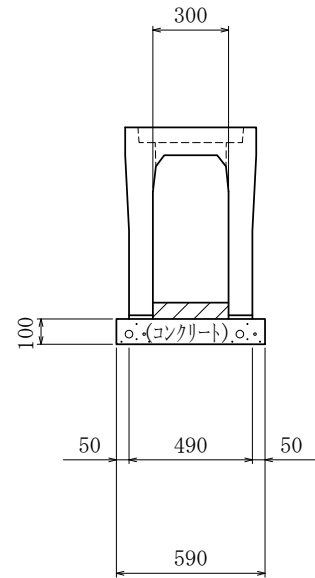
- ※ 鉄筋はSD345とし定着長は35Dとする
- ※ 止水板(CF-150)と伸縮目地の厚み(10mm)及び施工区間(10m)とする
- ※ 地盤反力が100kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認すること

- ※ 天端幅150mmの擁壁については、フェンス穴を設置しないこと
- ※ 既設水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること
- ※ コンクリートの設計強度は、無筋コンクリート構造物 ( $\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$ ) とする
- ※ コンクリートの設計強度は、鉄筋コンクリート構造物 ( $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ ) とする

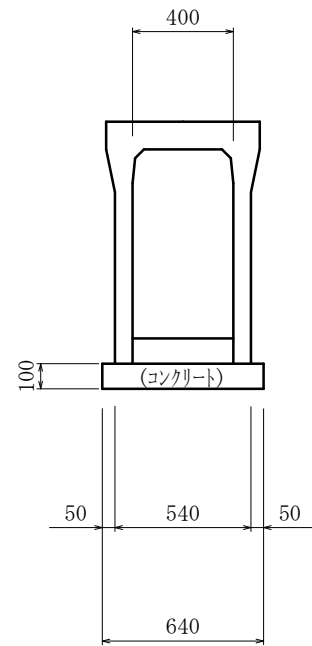
所在	高松市円座町字上円座
図面名称	構造図-14 縮尺 図中記載
作成年月日	令和6年5月20日
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広

# 構造図 - 15<sub>S=1:30</sub>

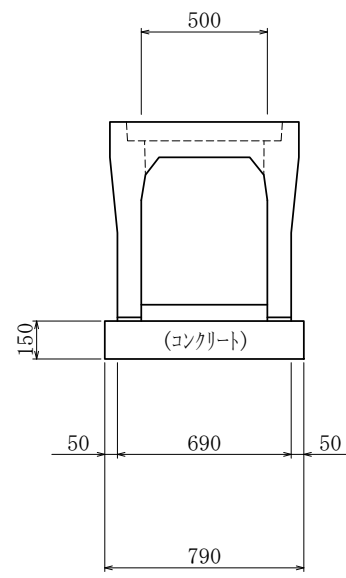
自由勾配側溝  
(300×500~900)



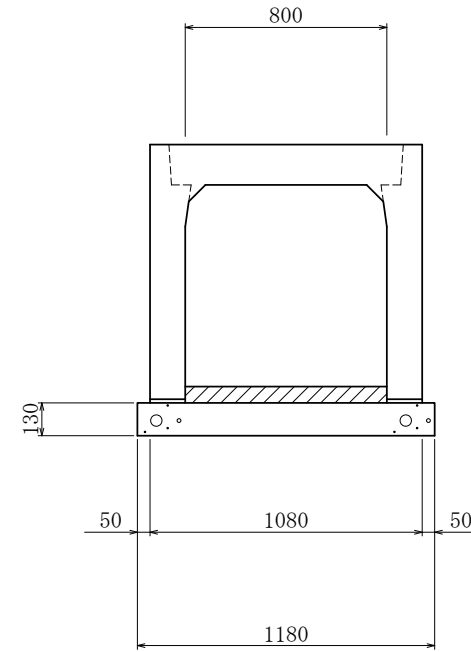
自由勾配側溝  
(400×500~900)



自由勾配側溝  
(500×600)



自由勾配側溝  
(800×800)



※ 自由勾配側溝のインバートは5cm以上とする

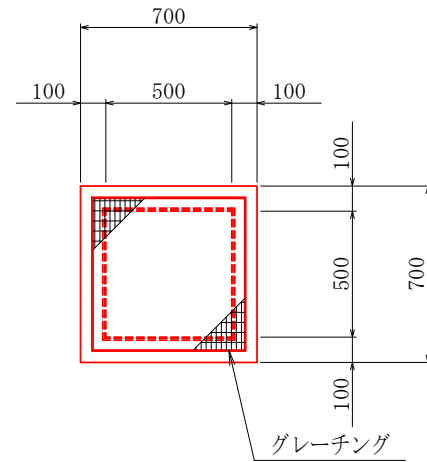
- ※ 鉄筋はSD345とし定着長は35Dとする
- ※ 止水板(CF-150)と伸縮目地の厚み(10mm)及び施工区間(10m)とする
- ※ 地盤反力が100kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認すること

- ※ 天端幅150mmの擁壁については、フェンス穴を設置しないこと
- ※ 既設水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること
- ※ コンクリートの設計強度は、無筋コンクリート構造物( $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ )とする
- ※ コンクリートの設計強度は、鉄筋コンクリート構造物( $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ )とする

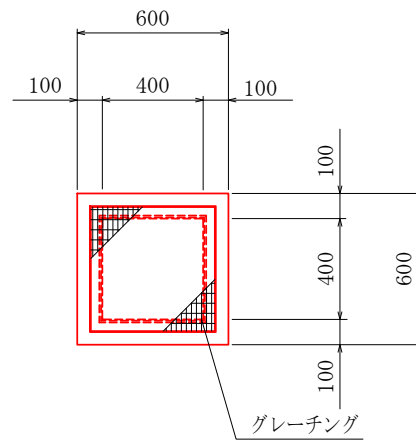
所在	高松市円座町字上円座		
図面名称	構造図-15	縮尺	1:30
作成年月日	令和6年5月20日		
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広		

# 構造図 - 16<sub>S=1:30</sub>

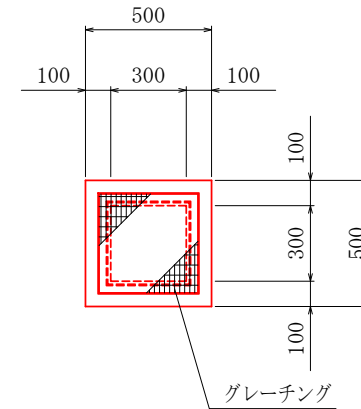
1号集水桝  
500×500×800  
平面図



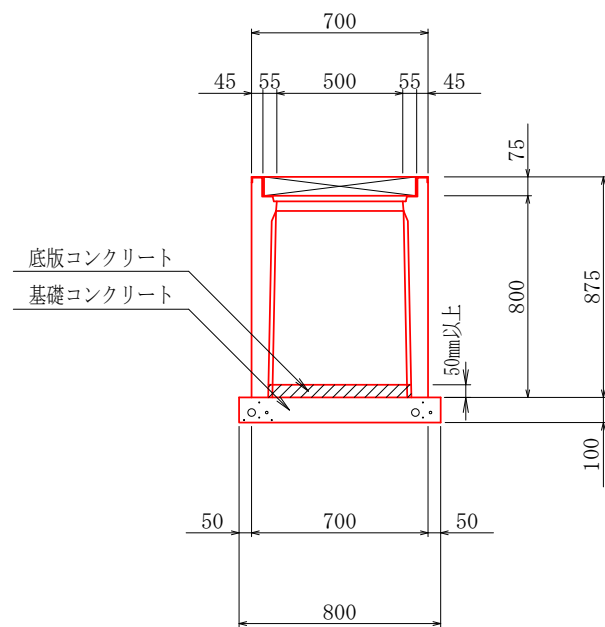
2号集水桝  
400×400×800  
平面図



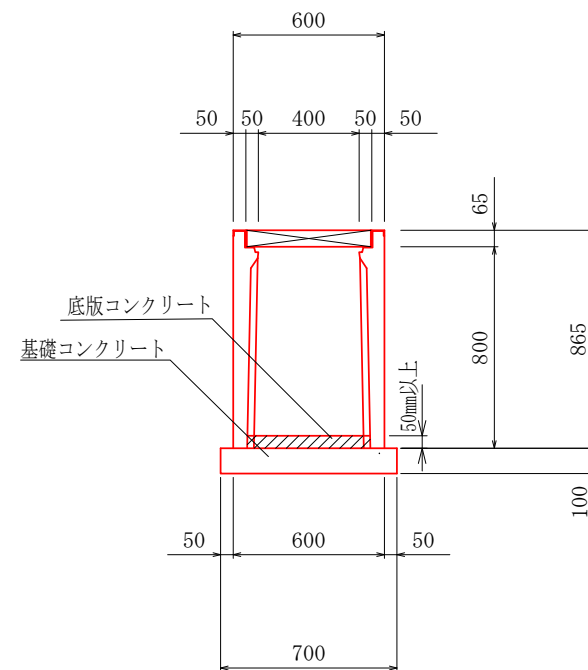
3号集水桝  
300×300×1000  
平面図



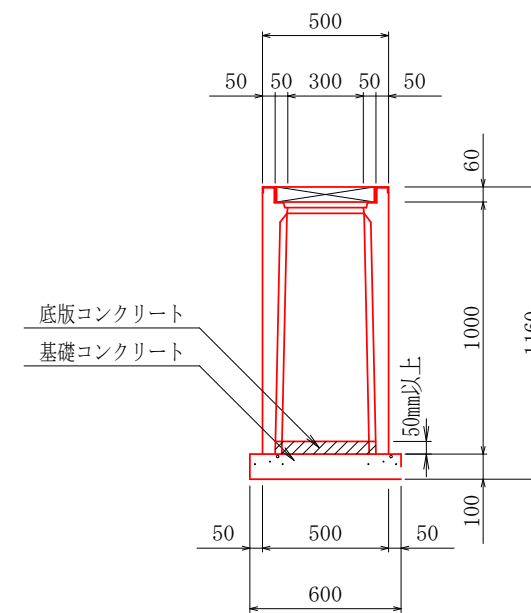
断面図



断面図



断面図



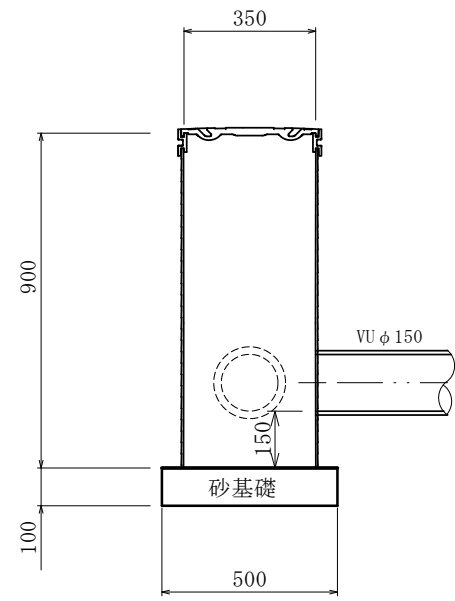
- ※ 鉄筋はSD345とし定着長は35Dとする
- ※ 止水板(CF-150)と伸縮目地の厚み(10mm)及び施工区間(10m)とする
- ※ 地盤反力が100kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認すること

- ※ 天端幅150mmの擁壁については、フェンス穴を設置しないこと
- ※ 既設水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること
- ※ コンクリートの設計強度は、無筋コンクリート構造物 ( $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ ) とする
- ※ コンクリートの設計強度は、鉄筋コンクリート構造物 ( $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ ) とする

所在	高松市円座町字上円座		
図面名称	構造図-16	縮尺	1:30
作成年月日	令和6年5月20日		
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広		

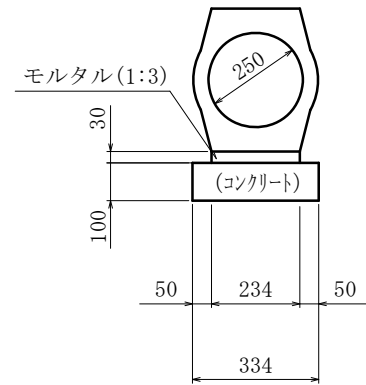
# 構造図-17 S=1:20

宅内雨水桝

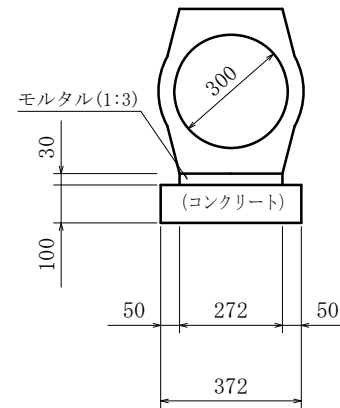


(桝の深さH=0.8m以下はφ300)  
 (H=0.8m~0.9mはφ350)  
 (H=0.9m~1.0mはφ400)  
 (H=1.0m~1.2mはφ450)

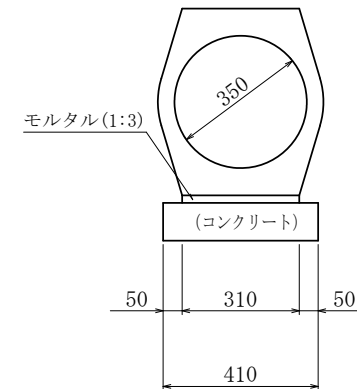
重圧管  
(φ250)



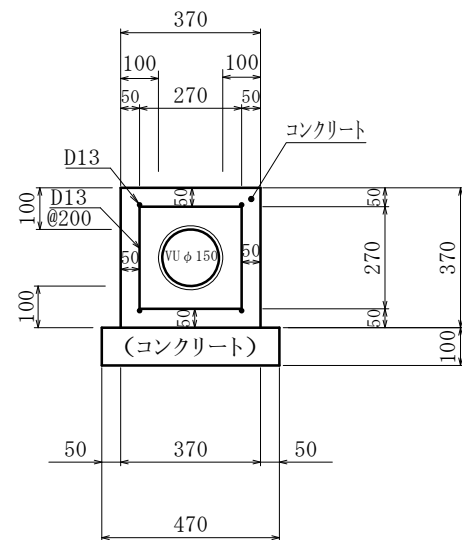
重圧管  
(φ300)



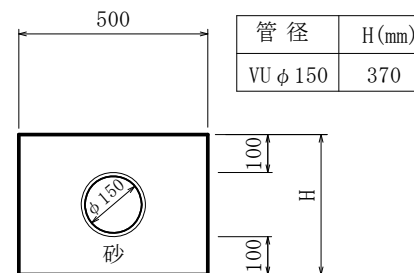
重圧管  
(φ350)



管巻図



塩化ビニール管取付管布設基礎



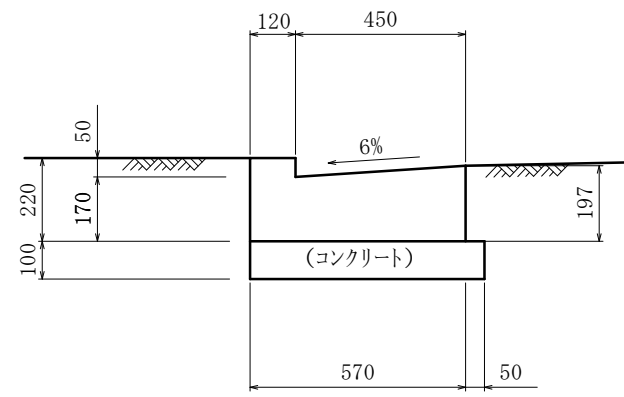
※ 鉄筋はSD345とし定着長は35Dとする  
 ※ 止水板(CF-150)と伸縮目地の厚み(10mm)及び施工区間(1.0m)とする  
 ※ 地盤反力が100kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認すること

※ 天端幅150mmの擁壁については、フェンス穴を設置しないこと  
 ※ 既設水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること  
 ※ コンクリートの設計強度は、無筋コンクリート構造物(σ<sub>ck</sub>=18N/mm<sup>2</sup>)とする  
 ※ コンクリートの設計強度は、鉄筋コンクリート構造物(σ<sub>ck</sub>=24N/mm<sup>2</sup>)とする

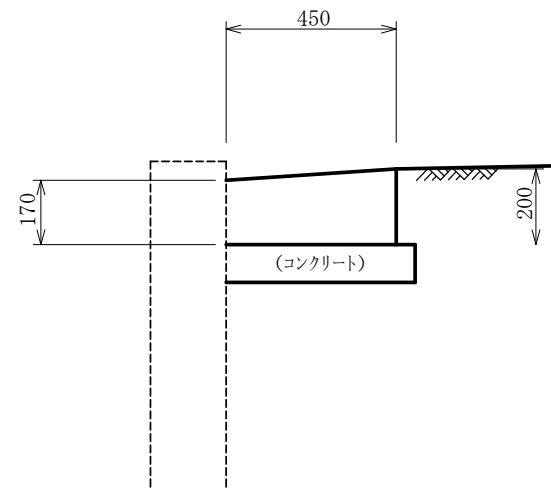
所在	高松市円座町字上円座
図面名称	構造図-17 縮尺 1:20
作成年月日	令和6年5月20日
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広

# 構造図 - 18 S=1:20

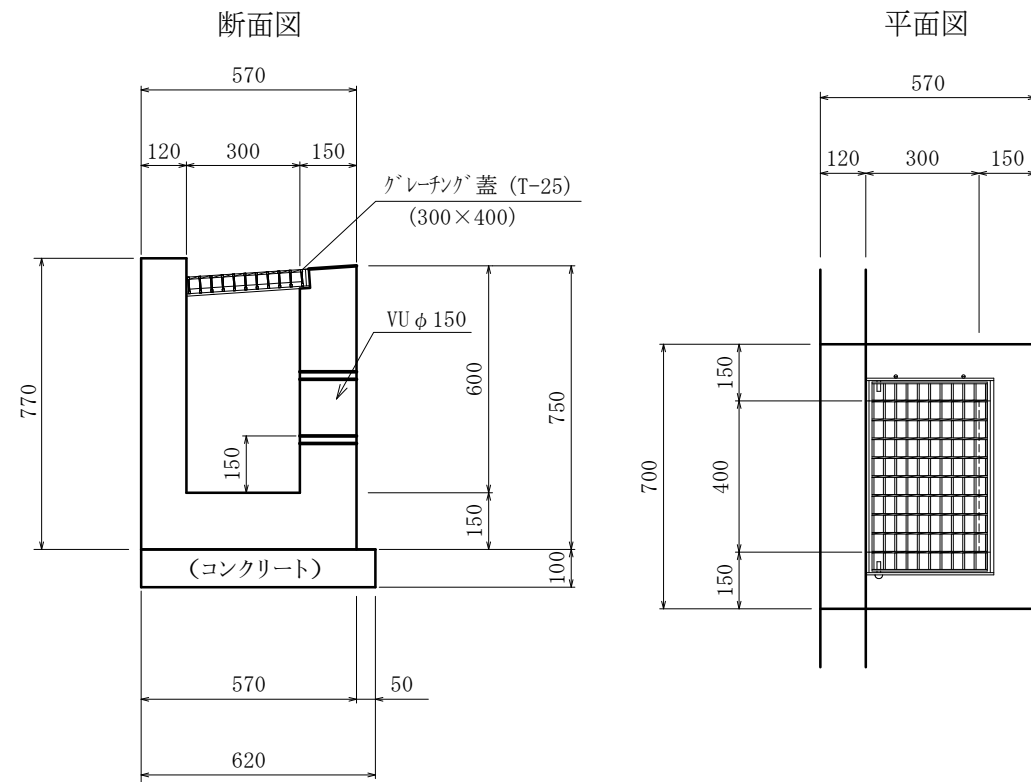
## L型側溝



## 2号L型側溝



## 街渠柵 (標準断面図)

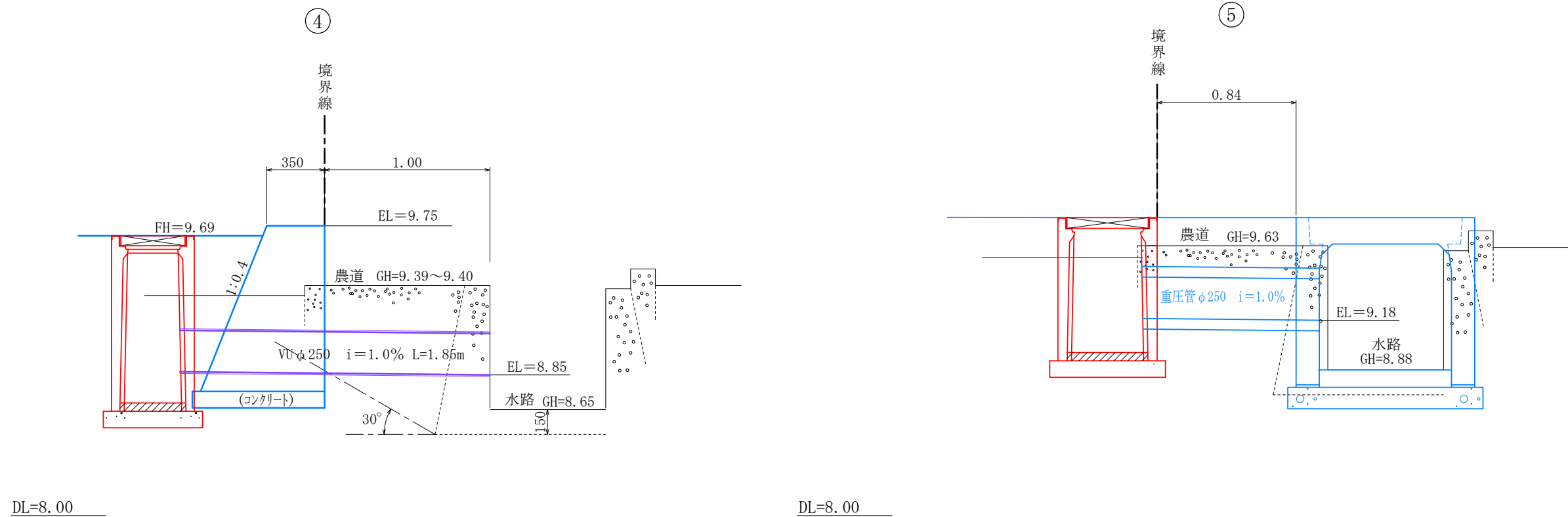


- ※ 鉄筋はSD345とし定着長は35Dとする
- ※ 止水板(CF-150)と伸縮目地の厚み(10mm)及び施工区間(1.0m)とする
- ※ 地盤反力が100kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認すること

- ※ 天端幅150mmの擁壁については、フェンス穴を設置しないこと
- ※ 既設水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること
- ※ コンクリートの設計強度は、無筋コンクリート構造物 ( $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ ) とする
- ※ コンクリートの設計強度は、鉄筋コンクリート構造物 ( $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ ) とする

所在	高松市円座町字上円座		
図面名称	構造図-18	縮尺	1:20
作成年月日	令和6年5月20日		
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広		

# 構造図 - 19 S=1:30



- ※ 鉄筋はSD345とし定着長は35Dとする
- ※ 止水板(CF-150)と伸縮目地の厚み(10mm)及び施工区間(1.0m)とする
- ※ 地盤反力が100kN/m<sup>2</sup>以上であることを確認すること

- ※ 天端幅150mmの擁壁については、フェンス穴を設置しないこと
- ※ 既設水路や均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること
- ※ コンクリートの設計強度は、無筋コンクリート構造物 ( $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ ) とする
- ※ コンクリートの設計強度は、鉄筋コンクリート構造物 ( $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ ) とする

所在	高松市円座町字上円座		
図面名称	構造図-19	縮尺	1:20
作成年月日	令和6年6月6日		
作成者	高松市三谷町1891番地4 土地家屋調査士 多田幸広		